

NPO 法人 北海道勤労者安全衛生センター

HP: <http://www.hokkaido-osh.org/index.html>



NEW 「メンタルヘルスアンケート調査」 結果(速報)のグラフ公開しています

3月16日から実施した2025年度の調査研究活動である「メンタルヘルスに関するアンケート調査」にご協力いただいた会員組織の皆さんに感謝申し上げます。約800人の方にアンケート調査に参加していただき、4/1より速報として結果をグラフにしたものを下記のサイトで公開しています。現在は、北海道医療大学金澤先生の協力のもと、簡易判定を行った「ストレスチェック」「ワークエンゲージメント」や他の2項目を総合的に分析する作業を行っています。6月初旬には結果報告書として皆さんののもとに届けることができる予定です。

結果の一部となりますが数回にわたって、この「安全衛生情報」を使ってお伝えしていきます。回答総数795人(男性449人、女性333人、無回答13人)、雇用形態は717人が正社員・正職員で67人が臨時・契約社員でした。また、職種としては事務職423人(53.2%)、教育職176人(22.1%)、販売営業職104人(13.1%)、以降製造、配送、建設となっています。

アンケート結果は、下記にアクセスして閲覧できます。

<https://e-union.net/kasuhara2025/kokai.html>

再掲載 ワークルール検定 2026 組合役員・企業担当者など団体で受検することをお勧めします

**ワークルール
検定 2026 春**

【春 6/12~6/13 実施】 受付始まっています

IBT方式で自宅でも職場でも、場所を問わず受けられます！
正社員、派遣社員、パート・アルバイトから管理職、経営者、労働役員に至るまでどなたでも職場で役立つ法律知識を身につけられます！
IBT Test (Internet Based Testing) とは最新のITシステム、スマートフォン、タブレットで受験できます。

検定期間 6月12日(金) 13日(土) 10:00~17:00
申込受付期間 4月1日(水)~5月29日(金)

初級検定 45分 4,900円(税込) 検定科目: 労働法(労働時間・労働条件)の基礎知識
中級検定 80分 8,900円(税込) 検定科目: 労働法(労働時間・労働条件)の基礎知識、労働契約・労働条件変更・賃金・人権保護雇用・労働組合・社会保障

2025年秋検定の受検者コメント
パソナのワークルール検定を受験する機会がなかったため、就業先で検定を受けることにしました。検定は非常に勉強になりました。検定結果が返ってきたら、検定結果を元に検定勉強会を開催しようと考えています。

公式テキストブック
検定勉強会、公式テキストにお申し込みいただけます。お申し込み、お申し込みの受付期間が終了しました。

ワークルールとは、「働くことに関する法的なルール」のことです。ワークルールを知らなかったことにより、本来受ける必要のない不利益に晒されたり、「過労死」のような典型的な労働災害の被害者になりかねません。転ばぬ先の杖というように、ワークルールを知ることはとても大切なことです。

検定はIBT方式で、自宅などから期間内であれば時間を問わずにパソコン・スマホ・タブレットで受検できます。出題内容は、おおむね「テキストブック」に準拠しており、これを学習すれば労働組合の活動に活かせる「労働災害・労働契約・労働条件変更・賃金・人権保護雇用・労働組合・社会保障」などの知識を得ることができます。

職場の権利教育ネットワーク【☎011-211-8784】か、

北海道勤労者安全衛生センター【☎011-272-8855】に問い合わせください。

受付期間は 4/1(水)~5/29(金) です。



(公式ウェブサイト)

NEW 警備会社からカスタマーハラスメント対応についての相談を受けました セミナーを開催

3月中旬、石狩管内の警備会社からカスタマーハラスメント対応の相談を受けました。一昨年、警備会社がある

胸に着けているプレート



地域の方々の法人会の研修でカスハラ対応のお話をさせていただいた縁で、警備員の方々が業務中に受ける被害実態からその対応策についてお話を聞く機会がありました。この会社の警備業務は、①道路等における交通誘導警備②イベントや混雑店舗における駐車場警備があるということで、「交通誘導警備中のカスハラ」では片側交互通行で通行車両に長い時間停止状態で待ってもらった際に「いつ

まで待たせるんだ。」「さっさと流せよ。」などの無理な要求があるとのことでした。また、警備員の前を通過する際に「バカ野郎、ちゃんと誘導しろ。」「お前はただ立っているだけか。」などの罵声を浴びせられる場合もあるそうです。「**駐車場警備中のカスハラ**」では、駐車場が満車状態の際に、「さっさと空いている場所に誘導すれよ。」「全然役に立っていないだろ、いてもいなくても同じだ。」「いつまで待たせるんだ。駐車させろ。あほ。」などの罵声を浴びせられる被害があるそうです。特殊な例として、「**取引先からのカスハラ**」もあり、取引先関係者が警備員に対して本来業務以外の清掃や荷物運びなどを威圧的に要求したり、合図・誘導のあり方を侮辱したりするケースもあるとのことでした。



対応策は整備されており、「**ほうれんそう**」による**事案把握と研修が中心**とのことでした。報告を受けた事例



を活用して、「冷静さを失わない。」「口論を避ける。」を基本として「会社に電話してください」と伝えるなど、事案が大きくなるようにすることを中心に対策しているそうです。また、写真の「**カスハラ ストップ!**」のプレートの装着は、**駐車場警備**で来店者のいらいらがピークとなり警備員に「なぜ誘導しないんだ。バカヤロー!」の暴言を浴びせられたことから製作し、防寒着に装着して運転者に見えるようにしているとのことでした。

相談では、警備員の方々がこれらの対応にさらに自信をもって臨めるように、カスハラの定義や加害者の特性、警備員がカスハラを受けた際の対応のあり方について説明し、社員の方々には4月中旬にセミナーとして講座を開催して詳しく説明することとしました。

NEW 「女性活躍推進法改正に伴う女性の健康上の特性への配慮」していますか？

女性活躍推進法の改正があり、事業主行動計画に、女性の健康上の特性への配慮の取り組みも盛り込まれました。性差を踏まえた配慮と性差別を混同するのではなく、男女の心身の差を考慮した措置が必要となっています。男女問わず健康上の配慮は必要なことではありますが、まず男女の身体的性差を理解し、なぜ女性活躍推進法改正により女性への配慮が必要とされるのかを理解する必要があります。皆さんの職場の雰囲気・対応はどのようになっているのでしょうか？ 労災防止の観点からも性差への理解が経営側にはもっと必要です。



女性活躍推進法の改正があり、事業主行動計画に女性の健康上の特性への配慮が盛り込まれることになっていますが実効性のある行動計画が策定されるのかが重要となっています。以前にも、女性の健康課題について連載してきましたが、働く女性をサポート対象とすることが見過ごされているケースが少ないと感じている方が多いことや何に困っているか分からないから配慮できないという認識のギャップに対して、相互の理解を深める必要が企業・団体に求められています。



全国労働安全衛生研究会代表の「山田 厚」さんは、多くの職場では男女の「**均等**」「**平等**」を理由に、基本的・根本的な性差を放置し無視する【**男女同一の仕事対応**】が求められていると指摘しています。これは【**男女平等の労働対応**】ではないとしています。正しい意味での【**ジェンダー平等**】でもなく、性差があるのに長時間・過密 労働・危険有害労働が「**男女同一**」に強いられることになっているとしています。その結果、働く男女ともに、今までにない苛酷な労働実態となり、とくに働く女性への健康リスクが

強まり、実質的 な働く女性への差別労働になっているのと強調しています。女性の心身の健康破壊が隠しようになく広がってきており、労働分野における対応が不十分なまともしています。まずは、身体的性差の学習を始めることが必要ではないでしょうか？

NEW 新年度あらためて大切に「ほうれんそう」と「おひたし」を大切に 新人・転入者との連携！
4月は人の入れ替わりがあります！ 新年度こそ職場のコミュニケーションの振り返りを

「報告・連絡・相談」する部下・後輩は

ほう 報告

後回しにしないこと！

れん 連絡

誰かが伝えているのではなく
自分が伝える意識を！

そう 相談

一人で抱え込まない！

「報告・連絡・相談」を受ける上司・先輩は

お 怒らない

感情的になるな！

ひ 否定しない

耳を傾ける！

た 助ける

困っていたら手助け！

し 指示する

わかりやすく！

お知らせ 東京都産業局のハラスメント防止動画があります 企業・団体で活用の検討を！
こちらから https://www.nohara.metro.tokyo.lg.jp/?y_j_r=6e&_ly_c=186cbe67-4ef8-489f-9873e4ab82463660&_ly_r=110&_ly_src=da

お知らせ 北海道勤労者安全衛生センターの労災防止研修用 DVD(無料)ライブラリー
北海道安全衛生センター所有 DVD 一覧(PDF) 100本を超えるDVDがあります。
申込は safety@rengo-hokkaido.gr.jp 会員組織でなくても無料でお貸します
企業・団体での研修会講師の依頼・相談も無料ですので当センターに気楽に相談を！

■ 中 | 災 | 防 | 技 | 術 | 支 | 援 | 部 | 情 | 報 |

令和6年度の研修・セミナーの開催日程もホームページに掲載しています。詳しくは、各研修等のページをどうぞご確認ください。 <https://www.jisha.or.jp/seminar/oshms/index.html>

<安全衛生団体>

■ 中央労働災害防止協会 <http://www.jisha.or.jp/>

■ 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_40277.html に掲載。

■ 北海道安全衛生サービスセンター

<http://www.jisha.or.jp/hokkaido/>

■ 安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/index.html>

■ 労働科学研究所 <http://www.isl.or.jp/>

■ 労働者健康安全機構 <https://www.johas.go.jp/>



- 労働安全衛生総合研究所 <https://www.jniosh.johas.go.jp/>
- 北海道産業保健総合支援センター（産保センター） <http://www.hokkaidos.johas.go.jp/>
- 職場のあんぜんサイト (mhlw.go.jp)
- 労働調査会 <https://www.chosakai.co.jp/>
- 日本産業カウンセラー協会北海道支部

一般社団法人日本産業カウンセラー協会北海道支部 (counselor.or.jp)

【必見】「働く人の悩み相談室」開設中！しております。詳しくは[こちら](#)から お申込み・お問い合わせは下記までご連絡下さい。▼ご予約は電話：011-209-7000(平日 9 時～17 時 ※土日祝日はお休み) メール：sapporo@counselor.or.jp(当日をご希望の方はお電話での受付になります。)

○ [個人の方へ | カウンセリングのご相談 | 一般社団法人日本産業カウンセラー協会 北海道支部](#)
(counselor.or.jp)

○ [日本産業カウンセラー協会](#) <http://www.counselor.or.jp/>

<行政>

- 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
- 厚生労働省 北海道労働局 <https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/>
- 北海道 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/>
- こころの耳（メンタル専用サイト） <http://kokoro.mhlw.go.jp/>

「事例紹介」に検索機能を追加しました。

[こころの耳 Q&A | こころの耳:働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト \(mhlw.go.jp\)](#)

- パワハラポータルサイト「明るい職場応援団」 <https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>
- アスベスト情報 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/sekimen/index.html>
- 独法 労働政策研究・研修機構（JIL） <https://www.jil.go.jp/>
- いじめ・メンタルヘルス労働者支援センター（IMC） <http://ijimental.web.fc2.com/index.html>

<おすすめHP>

- [ガン情報 がん対策情報センターについて](#)
- [がんと仕事のQ & A](#)
- 過労死防止学会 <http://www.jskr.net/>
- 全国過労死を考える家族の会 <http://karoshi-kazoku.net/>
- 日本アドラー心理学会 <http://adler.cside.ne.jp/index.html>

NEW ■ [安全スタッフ](https://www.rodco.jp/kytsheet/) <https://www.rodco.jp/kytsheet/>

安全スタッフ電子版の人気コンテンツ『KYTシート』安全教育動画の紹介 危険予知訓練に活用を



〒060-0004 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル 5F

事務局長理事 木下真一 TEL 011-272-8855 safety@rengo-hokkaido.gr.jp